

# 愛知淑徳大学 (愛知県)



生きた日本語を学び、日本語で世界を広げよう

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

愛知淑徳大学は1975年に女子大学として開学しました。大学創立20周年となる1995年には時代の変化・社会の多様性に応じるため、男女共学に移行し「違いを共に生きる」という理念のもと、男女の性差だけでなく、国籍の違いを越えて、外国人留学生や年齢や世代の異なる社会人を受け入れるようになりました。現在では、9学部5研究科、留学生別科を擁する総合大学に発展し、毎年9千人近い学生が共に学んでいます。

本学には、星が丘キャンパス（名古屋市）と長久手キャンパス（長久手市）の2キャンパスがあります。長久手キャンパス内には外国人留学生の宿舎として、国際交流会館（通称：アイハウス）が設置されています。

留学生別科は星が丘キャンパスにて開講されています。



### ② 国際交流の実績 (2021年10月1日現在)

【留学生在籍数】14人（9カ国）

【大学間交流協定校】55大学（24カ国）

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2021年：留学生数18人、日研生4人

2020年：留学生数6人、日研生0人

2019年：留学生数41人、日研生1人

### ④ 地域の特徴

名古屋市は230万人を超える人口を擁し、大都市としての利便性を備えつつも東京や大阪ほどは混んでおらず、住みやすい都市です。日本の中央に位置しているため、東京、大阪、京都、奈良などへも短時間で行くことができます。

留学生別科がある星が丘キャンパスは、名古屋市営地下鉄東山線「星ヶ丘」駅徒歩3分とアクセスもよく、駅周辺には飲食店や商業施設も充実しています。名古屋駅、栄駅など名古屋市の中心部へも乗り換えをせずに行くことができ便利です。

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

(b) 主に日本語能力の向上のための研修

### ② 研修・コースの特色

【コース名】留学生別科日本語コース

【コースの特色】

「生きた日本語」を学ぶための場として1992年に設立されました。少人数クラスで一人ひとりのニーズに可能な限り対応する授業を行っています。

授業にはレベルに応じた日本語を学ぶ日本語科目と、実践や体験を重視した日本文化科目があります。上級レベルの学生は、所定の学部科目の履修もあり、日本人学生と共に学ぶ機会が提供されています。

各レベルで「チュートリアル」と呼ばれる個人指導の時間があり、学生は担当教員から自分の日本語の弱いところを丁寧に教えてもらい、直していくことができます。

### ③ 受入定員

30名（大使館推薦3名、大学推薦1名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 最低12年の正規の学校教育を修了し、大学入学資格すべてを満たしていること。または、これに準ずる資格を有することが必要です。
- 2) 最終学歴校の成績が100点満点中、平均75点以上であること。または、GPA4.00のうち2.75以上を取得していることが望まれます。

### ⑤ 達成目標

達成目標はどのレベルで学習をはじめたかによって異なりますが、1学期が終わった時に必ず次のレベルに行ける日本語を身につけていることを目標としています。

【達成目標の目安】

- ・日本語初級Ⅱ修了時：JLPT4合格
- ・日本語中級Ⅰ修了時：JLPT3合格
- ・日本語中級Ⅱ修了時：JLPT2合格
- ・日本語上級Ⅰ修了時：JLPT1合格
- ・日本語上級Ⅱ修了時：大学学部・大学院授業を問題なく受講できる

## ⑥ 研修期間（在籍期間）

秋学期：2022年9月下旬～2023年1月下旬  
（2022年9月1日～2023年3月31日）  
春学期：2023年4月中旬～2023年8月上旬  
（2023年4月1日～2023年8月31日）

## ⑦ 奨学金支給期間

2022年9月～2023年8月

## ⑧ 研修・年間スケジュール

### 【2022年秋学期】

- ・9月中旬 渡日  
オリエンテーション  
プレースメントテスト  
歓迎パーティー  
秋学期授業開始（9月下旬）
- ・12月 冬季休業（12月下旬～1月上旬）
- ・1月 秋学期授業終了（1月下旬）  
定期試験（1月下旬）
- ・春季休暇

### 【2023年春学期】

- ・4月 春学期授業開始
- ・7月 春学期授業終了
- ・8月 定期試験
- ・8月下旬 帰国

## ⑨ コースの修了要件

以下の3条件を満たすと修了証書が与えられ、成績証明書も発行されます。早期修了は原則不可ですが、ご希望の場合はご相談ください。

- ①留学生別科に2学期在籍すること
- ②各学期に16単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること
- ③各学期に修得する単位には、日本語科目を8～16単位（レベルにより異なる）を含んでいること

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

・各クラス原則として、1週間に午前中4時間の会話や視聴解の授業、6時間の読解・作文の授業の合計10時間（日本語初級は12時間）に加えて、午後に90分の日本語演習があります。演習では、午前中に学習した日本語を使った様々なクラス・アクティビティを行います。

・初級、中級レベルでは聴解練習の授業も設けられています。

・カリキュラムの一部に学部科目を組み込み、日本人学生と共修できる機会を設定しています。

### 2) 研修・コース開設科目

#### I) 必須科目

日本語能力を高めることができるよう、少人数制をとっています。初級・中級・上級とレベルに合わせて履修する授業・時間数は異なります。

科目名	概要
総合	「話す、聞く、読む、書く」4技能の力を総合的に伸ばします。
聴解	レベルに応じた「聞く」力をつけます。
会話	様々な場面、トピックに合わせた「話す」力をつけます。
読解	様々なタイプの文章を読み、「読む」力をつけます。
作文	レベルに合わせて適切に「書く」力をつけます。
演習	スピーチ、ディスカッションの練習をします。
視聴解	日本の社会事情について、動画で内容を理解しそれに対する意見をまとめ、発表する練習をします。

## II) 選択科目

体験型の日本文化科目を実施しています。各科目1週間1回90分の授業です。

### 【華道（2単位）】

毎週その時季にあった花を生けることで、日本文化の理解に欠かせない季節感についても学ぶことができる授業です。

### 【書道（2単位）】

紙、筆、墨を使い、簡単な線の引き方、墨の濃淡、潤濁の基本を習い、ひらがな、漢字をはね、はらい、書き順等に注意を払いながら書いていきます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

### 【日本文化（2単位）】

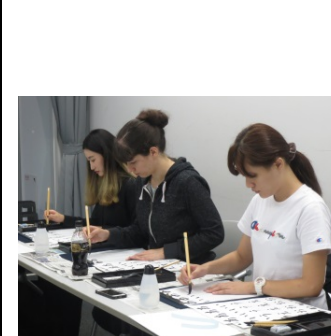
日本の伝統文化の中から、年中行事、祭り、陶芸、神社・城、日本料理などを取り上げ、トピックについて調べたり、映像を見た後に実際に見学、実習しながら学びます。

### 【CCCキズナプロジェクト（2単位）】

「まち」の活性化や地域社会が抱える課題に対して、実際にアクションを起こしていくプロジェクト型の授業です。行政や商店街、企業、NPOなどと連携して問題解決にチャレンジします。

### 【小学校英語教育実践演習Ⅱ（2単位）】

この科目の履修学生は、小学校の現場で、外国語活動の授業に参加し、ボランティアとしてALT（外国人英語指導員）や担任教員の補助を行うことを通じて教員の仕事と教職の意義を学びます。



4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

【Japanese Popular Culture】

海外で日本の文化がどのように・なぜ人気になっているのかを学びます。

【Japanese Performing Arts】

日本の伝統芸能を外国人に説明できる力を身に付けます。

【日本語学1・2】

日本語を言語学的手法で分析し、日本語の体系を学びます。

【ケーススタディ言語10（日本語）】

日本語を日本語使用の実態に基づいて、自分で分析することを通してとらえ直します。

【コミュニケーション論1（コミュニケーション概論）】

生活におけるコミュニケーションの果たす役割の理解を深めます。

【コミュニケーション論3（ノンバーバル）】

コミュニケーションのプロセスにおいて、非言語がどのような役割を果たしているかを様々な具体例から考察します。

【観光文化2（観光交流論）】

人が「観光」や「旅」に何を求めるかは、時代によって変化します。この授業では新しい観光地の事例を研究し、人々が旅に何を求めているのかを探ります。

⑪ 指導体制

日本語の授業は経験豊富な複数の教員がチームを組んで進めていきます。複数の教員が担当することで、多角的に日本語が習得できます。

また、演習では一人一人の習熟度や必要に応じた指導も行っており、日本語の力を伸ばすようにしています。

## ■ 宿 舎

【国際交流会館（通称：アイハウス）】

アイハウスは長久手キャンパスに位置した学生寮を含む多目的施設です。1階にはセミナー室、和室、茶室、多目的ラウンジ、調理室があり、2・3階が留学生の生活する寮になっています。

寮には管理人が常駐しているほか、日本人レジデントアシスタントも共に生活し、留学生のサポートにあたっています。

【居室】

留学生の居室はすべて単身室です。

〈面積〉12.86㎡

〈部屋数〉2階29室、3階24室

〈設備〉ベッド、机、椅子、デスクランプ、冷蔵庫、エアコン、収納棚、カーテン、インターネット回線

【共同施設】

寮生の共同施設として、キッチン、リビング、ダイニング、スタディールーム（3階のみ）、ミニラウンジ、シャワールーム、トイレ、ランドリー（洗濯機、乾燥機）、自動販売機があります。

スタディールームには共同で使えるノートパソコンが設置され、リビングではWi-Fiの利用が可能です。

【周辺環境】

長久手キャンパス周辺には、スーパーマーケット、飲食店、衣料品店等があり、大変便利です。大学の正門からは名古屋市営バスが出ており、最寄りの地下鉄の駅まで15～20分、名古屋市中心部の栄までは地下鉄に乗り換えて30分で行くことができます。

【居室使用料】

保証金	居室使用料	維持管理費	電気料	清掃料
入居時 40,000円	月額 20,000円	月額 5,000円	実費	退去時 5,000円

【留学生サポート】

日本人学生のボランティアによる、留学生バディ制度があります。留学生バディによるイベントも定期的におこなっています。



国際交流会館（宿舎）

## ■ 修了生へのフォローアップ

・進学を希望する留学生に対して、教員、スタッフによる相談が受けられます。

【修了後の進路例（キャリアパス）】

- ・大学・大学院への進学
- ・帰国後 就職先企業にて日本語翻訳担当
- ・JETプログラム参加
- ・専門学校進学

## ■ 問合せ先

<担当部署>

愛知淑徳大学 国際交流センター

住所：〒464-8671

愛知県名古屋市千種区桜が丘23

TEL： +81-052-783-1590（直通）

FAX： +81-052-783-1578

Email： goglobal@asu.aasa.ac.jp

<ウェブサイト>

愛知淑徳大学国際交流センター：

[www.aasa.ac.jp/institution/international](http://www.aasa.ac.jp/institution/international)

愛知淑徳大学：

[www.aasa.ac.jp](http://www.aasa.ac.jp)